

熊本県立菊池少年自然の家 指定管理者 平成29年度 管理運営評価票

所管部課:教育庁教育総務局社会教育課

施設の管理概要

指定管理者名	ひとつくりくまもとネット・三勢共同体
指定期間	平成29年4月1日から平成34年3月31日まで
施設概要	<p>所在:菊池市原4885番地5</p> <p>施設:宿泊棟、研修室、体育室、キャンプ場等</p> <p>目的:本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を活かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。</p>
指定管理料	300,154,000円(4施設合計、利用料金制)

管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	29,995人	33,347人	前年度実績 29,772人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>宿泊利用者数を維持しつつ、出前講座による利用拡大を図り、前年実績、目標値を上回る利用者数を確保したことは評価できる。</p> <p>県では、特に施設における利用者の安全確保を重視し、指定管理者への指導を徹底しており、期間中の事故発生は0であった。研修や安全マニュアル整備・更新等を通じた、安全確保の取組みを期待する。</p>			

## 2 管理業務実施状況

### 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年	
保安・警備	宿直業務	通年	
	給湯運転監視	通年	
保守点検	電気設備保守点検	年6回(隔月)	専門業者に委託
	身障者用昇降機点検	年1回	同上
	消防設備保守点検	年2回	同上
	自家発電設備保守点検	年2回	同上
	監視カメラ保守点検	月1回	同上
	空気環境測定	年5回	
	害虫駆除	年2回	専門業者に委託
	受水槽・高架水槽清掃	年1回	同上
	水質検査(残留塩素)	週1回	
	浄化槽保守点検	年24回	専門業者に委託
	浄化槽清掃	週1回	同上
	浄化槽法定検査	年1回	同上
	水質検査	年1回	同上
	塩素滅菌設備点検	月1回	同上
建築設備定期点検	年1回		
【点検・調査結果及び評価】			
施設設備の清掃、保安・警備および点検等については仕様書どおり専門業者が実施、頻度・内容ともに水準を満たしており、良好に管理されている。			

## 運営事業実績

### (主な事業・イベント)

事業・イベント名	開催時期	参加者数	趣旨・内容
幼稚園・保育園連携事業～自然のど真ん中で生き生きと～(全8回)	6～2月	404人	幼児期の自然体験活動の機会を提供し、人間形成の基礎を培う。保護者には自然体験活動の重要性を知る機会を提供する。
夏だ！川だ！サンサンサマー	7/23	50人	川遊びを通じて子どもたちの交流を深め、生きる力を身につけるとともに、自然に親しみ豊かな心を育む。
菊少農っ子プロジェクト(全2回)	8月、1月	39人	土や水、植物と直接ふれあう農業体験を通じて、生産活動のすばらしさや、命の大切さを実感し、農業への関心を深める。
迫水地区地引網体験	9/10	70人	山間地に住む子どもたちに地引網を体験いただき、海の生き物に触れる機械を与えるとともに、地域間の交流を図る。
集団宿泊教室における学校と社会教育施設の連携事業	9/27～29	72人	学校と社会教育施設が連携し、より教育効果の高い自然体験活動を提供し、子どもたちの生きる力を育む。
スマイルキャンプ	10/8,9	7人	キャンプや野外炊飯、カヌーなどの体験活動を通して達成感・満足感を味わい、子どもたちの自主性を育む。
おやこ de 農業体験～稲刈り&秋の味覚～	10/14,15	25人	親子での農業体験を通して、生産活動のすばらしさ、命の大切さを実感し、農業への関心を高める。
水迫地区新春どんどや	1/14	36人	地域交流事業の一環として、水迫地区との共催事業を行い、日本の伝統文化を学ぶとともに過疎地域と都市地域の交流を図る。
森の通学学習(全4回)	1～2月	74人	子どもたちは共同生活を通して自立心を育み、親は子離れを体験し、家庭教育を見直す機会を提供する。
菊池わいふのひなまつりグラウンドゴルフ大会	3/2	90人	グラウンドゴルフの楽しさを通して、参加者同士の交流を深めるとともに、施設を身近に感じてもらう、施設利用の拡大につなげる。
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>企画事業数は減少したが、幼稚園・小学校、親子、地域を対象とした企画を実施し、幅広い年齢層を対象に体験活動の普及・啓発に取り組んでいる点は評価できる。</p> <p>今後は、幼稚園・小学校との連携事業における効果を検証し、体験活動のさらなる普及・啓発及び利用促進につなげていただきたい。</p>			

### 3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	355 日	356 日	99.7%
	宿泊可能日数	352 日	354 日	99.4%
	利用日数	243 日	242 日	100.4%
	利用率	68.5%	68.0%	100.7%
	利用者実数	7,980 人	7,556 人	105.6%
	利用者延べ数	16,039 人	16,055 人	99.9%
キャンプ場	開館日数	355 日	356 日	99.7%
	宿泊可能日数	352 日	354 日	99.4%
	利用日数	14 日	18 日	77.8%
	利用率	3.9%	5.1%	78.0%
	利用者実数	182 人	352 人	60.0%
	利用者延べ数	418 人	857 人	48.8%
出前講座等	利用者実数	16,890 人	12,860 人	131.3%
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>本館利用については、利用する各団体と事前相談を丁寧に行うことにより、リピーターを確保し、前年度並みの利用者を確保している。キャンプ場利用については、震災以降の他施設利用やシーズン中の天候不順により、前年度の半数の利用に留まっている。出前講座については、職員研修によりスキルアップを図り、前年度比 31%増と、大幅な利用者増を達成した。</p> <p>今後は、キャンプ場利用者増のため、環境整備や企画事業(体験キャンプ等)に取り組むとともに、出前講座参加者を施設の利用・宿泊につなげる等、施設利用への取り込みを図る取組みに期待したい。</p>				

#### 4 管理経費の収支状況

収入			
項目		内訳	金額(円)
利用料金収入	本館	一般 1,407 人、高校生以下 5,854 人、就学前の者 321 人	2,478,800
	キャンプ場	一般 60 人、高校生以下 160 人、就学前の者 8 人	34,600
	宿泊を伴わない利用	一般 516 人、高校生以下 354 人、就学前の者 147 人	69,300
指定管理料		指定管理者による本施設への振り分け	58,968,000
企画事業等収入		15 事業	866,863
その他活動収入		出前講座 200 団体	1,257,661
プログラム活動料金			1,289,270
食事代			11,984,480
シーツ等クリーニング代			817,154
雑収入			99,225
合計			77,865,353
		収入未済額	0
		うち利用料金収入分	

支出			
項目		内訳	金額(円)
人件費			47,985,226
運営管理費		旅費、管理費、活動プログラム費等	11,853,524
維持管理費		光熱水費、業務委託費、施設修繕費	21,249,650
企画事業費			986,710
合計			82,075,110
【点検・調査結果及び評価】			
利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて修繕を含む施設管理運営に必要な経費に適切に使用されている。			

## 5 利用者調査結果

調査実施 内容	調査年月日	平成29年4月1日～平成30年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	132 団体											
調査結果	調査分野	回答内容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	95	72.0	35	26.5	2	1.5	0	0	0	0	0	0
	活動内容	80	60.6	27	20.5	3	2.3	0	0	0	0	22	16.7
	職員の受入れ対応	96	72.7	33	25.0	3	2.3	0	0	0	0	0	0
	職員の指導・助言	96	72.7	31	23.5	5	3.8	0	0	0	0	0	0
	食堂スタッフの対応	55	41.7	46	34.8	14	10.6	0	0	0	0	17	12.9
	食事の質	51	38.6	49	37.1	12	9.1	2	1.5	0	0	18	13.6
	食事の量	80	60.6	25	18.9	7	5.3	1	0.8	0	0	19	14.4
	屋内の施設・環境	62	47.0	41	31.1	24	18.2	2	1.5	0	0	3	2.3
	屋外の施設・環境	70	53.0	33	25.0	20	15.2	4	3.0	0	0	5	3.8
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
		97	73.5			33	25.0			0	0	2	1.5
利用者からの意見等													
<p>【点検・調査結果及び評価】</p> <p>「食堂スタッフの対応」、「食事の質」について、「非常によい」の評価が減少している。青少年教育施設も宿泊施設である以上、食事が施設全体の印象を左右することから、食堂サービスのクオリティー向上に引き続き取り組んでいただきたい。</p> <p>「職員の受入れ対応」、「職員の指導・助言」について、「非常によい」、「よい」の合算値の割合が上昇、95%を超え、利用者から高い評価を得ている。研修等によるスキルアップの効果があらわれているものと見られるが、引き続き高い評価を維持・向上し、利用者増につなげていただきたい。</p>													

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【点検・調査結果及び評価】	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
全項目で「非常によい」の評価が前年比低下	今年度は利用者と事前に丁寧な打合せを行ったことで、職員の対応への評価が改善した。 体育館の天井補修完了により、「屋内施設・環境」の評価が改善した（「非常に良い」、「よい」合せて5%の上昇）
食事の質の改善	大幅なメニューの改善は出来なかったが、カレーの変更、ふりかけの変更、卵料理の変更等、できることから改善に取り組んだ。
【点検・調査結果及び評価】 指摘事項に対する対応・取組みは評価できる。 食事の質の向上については、予算の制約はあるが、小さな改善活動を継続し、利用者の評価向上に努めていただきたい。また、食事改善のパイロット事業に位置付けられている天草青年の家での成果を改善活動に活用いただきたい。	

## 8 その他

アンケートの自由記述欄にも現場・共同体事務局スタッフ全員が目を通し、利用者のニーズを汲み取り、サービスレベルの向上を図っていただきたい。
--